

議会だより

17-Seventeen



“新春初歩き大会”元気に出発!! (南小松島小学校)

新春恒例の32回目となる初歩き大会（主催・21歩こう会）が、1月3日にありました。参加者は、同校→旗山→恩山寺→立江寺まで約8kmを元気に歩きました。

目次

常任委員会報告	2~5
一般質問	6~13
クイズ	13
議案賛否表	14
委員会視察報告	15
お知らせなど	16

12月定例会 常任委員会報告

総務常任委員会

委員長 廣田 和三

消費税率増により、 公の各施設の使用料を値上げに

副委員長 井内 章介
佐野 善作 松下 大生
吉見 勝之 近藤 純子
米崎 賢治 佐藤光太郎
橋本 昭 津川 孝善

人事院勧告に準拠し、
市議会議員の期末手当の
支給月数を改めるもの。

当委員会には、議案6
件が付託され、審査の結
果、議案6件は原案どお
り可決された。

◎議案第91号 小松島市
長、副市長及び教育長
の期末手当の支給月数を
改めるもの。

◎議案第90号 小松島市
議会議員の議員報酬及び
費用弁償等に関する条例
の一部を改正する条例に
ついて

◎議案第92号 小松島市
一般職の任期付職員の評
用及び給与の特例に関す
る条例の一部を改正する
条例について

人事院勧告等に基づ
き、任期付職員の給料表
の額及び期末手当の支給
月数を改めるもの。

◎議案第93号 小松島市
職員の給与に関する条例
の一部を改正する条例に
ついて

人事院勧告等に基づ
き、勤勉手当の支給月数
等を改めるもの。

◎議案第94号 小松島市
会計年度任用職員の給与
及び費用弁償に関する条
例等の一部を改正する条
例について

人事院勧告等に基づ
き、給料表を改正すると
ともにフルタイム会計年
度任用職員の公務災害補
償における補償基礎額に
係る規定を追加する等の
改正を行うもの。

◎議案第95号 小松島市
公共施設における使用料
改定に係る関係条例の整
備に関する条例の制定に
ついて

消費税率の引き上げに
伴い、公の施設の使用料
につき消費税相当額を増
額するもの。

対象施設は次のとおり
○小松島市立体育館
○小松島市立武道館
○夜間運動場

坂野運動広場
南小松島夜間運動場
北小松島夜間運動場
児安夜間運動場
○小松島市多目的ホール
○小松島市多目的研修集
会施設(営利等目的)
○小松島市交流センター
○小松島ステーションパ
ーク

※詳細は各施設にお問い
合わせ下さい。



小松島市立体育館

◆所管事項での質問◆

佐野 相続で子どもがお
らず農地を持ってその方
が亡くなった時、固定資
産税はどうなるのか。

税務課長 まずは相続人
の有無を税務課で調査を
行う。子どもがいなくて
も他に相続人がある場合
があるので調査をして通
知する。

橋本 固定資産税の滞納
者が亡くなり法律的な相
続人が誰もいない場合、
市は競売の手続きをでき
るのか。

税務課長 滞納処分をし
ていない、いわゆる差し
押さえしていない不動産
に関しては、公売はでき
ない。

近藤 消防本部で普通救
命講習を行っているが詳
しく説明を。

消防次長 毎月第3日曜
日午前9時から正午まで
3時間救命講習を行って
いる。受講後に修了証カ
ードを交付している。簡単
にできる救命措置など救
急現場での協力者として
の人材を育成している。

文教厚生常任委員会

委員長 井村 保裕

小松島市少年武道場を、 旧勤労青少年ホームへ移設

副委員長 近藤 純子
出口憲二郎 四宮 祐司
池淵 彰 井内 章介
杉本 勝 津川 孝善
廣田 和三 南部 透
橋本 昭

◎議案第97号

小松島市少年武道場条例の一部を改正する条例について

当委員会に付託された議案2件は、慎重審査の結果、いずれも原案どおり可決した。また、所管課より2件の報告を受け、了承した。

◎議案第96号

小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

令和元年10月より保育料の無償化を実施しているが、内閣府令に基づき語句の修正等をするもの。



旧勤労青少年ホーム内の武道場

◇報告◇

○小松島市一般廃棄物処理基本計画の改定については、ごみの減量化や資



県前保育所

◇所管事項での質問◇

津川 小松島南中学校の

源化、生活排水の適正処理に向けた取り組みを位置づける計画であり、国の指針により概ね5年ごとに改定している。また、その他の取り組みとして、関係6市町による広域ごみ処理施設整備に向けて、今後も事業進捗

○小松島厚生福祉解放センター建物全体の外壁工事等の改修工事に伴い、

県前保育所を令和2年4月から令和3年3月まで休所する。現在在籍している園児は他の保育所へ転所することも保護者の了承済みである。

雨漏りの件で、修繕の進捗状況は。

教育政策課長 通常の雨ではなく、台風等の強い風雨の時に水が入ってきたという状況。業者と共に調査をし、この調査をもとに改善する。

廣田 小学校再編に伴う地域説明会時の説明資料において、スクールバス導入による通学道路の道路幅の数字が正確でないのではないかと。

教育政策課長 都市計画マスタープランで使ったデータをもとに選定しており、実測値とは違って間違った数字ではないと考える。

廣田 地域説明会で出た質問や回答などの報告書の進捗は。

教育次長 ホームページで確認できるようアップしている。

バスについては、学校再編準備委員会等で詳細を詰める。

南部 通学支援の基準、子どもの歩く速度、分速60mで30分以上、つまり1800m以上の世帯を支援。子どもの歩く速さ、分速60mは検証されたのか。

教育政策課長 一般の子どもが歩く速度として設定したため、検証はしていない。

井内 事前登録型本人通知制度上の通知では、戸籍情報を誰が何の目的で請求したのかかわらない。開示請求すればその全てを教えてくれるのか。

戸籍住民課長 開示される内容については条例の規定の範囲になるので、できない部分がある。

津川 市立体育館のトイレ以外で排便行為をされる事案があったと聞く。その時の状況や今後の対応をお聞きしたい。

警察や担当職員も巡回はするようにしているが、過去に敷地内の自動販売機が荒らされたという経緯もあり

現在防犯カメラをつけるように発注作業に入っている。



12月20日、入り口3ヶ所に防犯カメラ設置完了

近藤

新学習指導要領に伴い、小学校ではプログラミング教育が導入される。市では大型テレビが各教室に導入され、タブレットも配布されている。ICTに力を注ぐことにより子ども達の意欲や関心は高まるが、市の更なる推進の考えは。

学校課長

小学校ではタブレットの充実、中学校では大型掲示装置、電子黒板や実物投影機の充実等、ICT環境の整備を着実に進めたい。

産業建設常任委員会

委員長 出口憲二郎

公共下水道事業を特別会計から 公営企業会計へ移行し、透明化を図る

副委員長 南部 透
佐野 善作 米崎 賢治
井村 保裕 四宮 祐司
池淵 彰 松下 大生
杉本 勝 佐藤光太郎
吉見 勝之

当委員会では、付託議案2件の審査のため、12月12日午前10時から委員会を開会した。

付託された議案第98号及び議案第99号については、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

また、議会からの委任に基づく市長専決処分に係る報告事案として、報告第28号に対する説明を受け、その内容について確認した。

する臨時従事員について給与等に関する事項を条例により定めるもの。

◎報告第28号 専決処分の報告について（損害賠償額の決定）
市道中田38号線の草刈りを行っていた際、草刈機の回転刃が小石を跳ね上げ、相手方宅敷地内に駐車していた自動車のリアガラスを破損させた物損事故について、その損害賠償の額を専決処分により決定したもの。

◇所管事項での質問◇
吉見 今秋、愛媛県新居浜市と西条市の祭りに行く機会があったが、祭りが終わった後、主催者の呼び掛けにより、祭りに来ている人たちが30分間の清掃作業を行っていた。港まつりでも取り入れてはどうか。

◎議案第99号 小松島市競輪事業臨時従事員の給与等に関する条例の制定について
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、令和2年4月1日より一般職の会計年度任用職員が創設されることに伴い、同日より会計年度任用職員となる自転車競走に従事

運営委員会等で協議していききたい。

佐野 平成31年2月に開通した県道17号小松島港線バイパスについて、死亡事故も発生しており、開通前から地域住民が危険性を指摘し、信号や横断歩道の設置等安全確保の要望をしていたが、開通直後、交差点付近に街灯設置されて以降、どのような対策をしているのか。

産業建設部副部長 県道の道路管理者である徳島県並びに県公安委員会及び県警に対し、再三、交通安全対策を要請している。今後も引き続き強く要望していくとともに、一層の連携強化を図りたい。

四宮 金磯一番町第一踏切の拡張工事について、平成30年10月着工から1年半の工期で、今年度末開通予定だが、現在の進捗状況は。
都市整備課長 今年度末開通に向け、予定通り進捗している。

金磯一番町第一踏切の拡張工事



四宮 自然災害発生時の避難路として、1日でも早い完成を目指して欲しい。

都市整備課長 今後もJRに対して要望していく。米崎 競輪開催業務等包括委託と施設整備業務について、公募型プロポー

ザル方式での事業者選定が遅れているが、事業継続への影響は。

競輪局長 開催及び施設整備の手法について協議を進め、年明けには議会に対して報告したい。競輪事業存続・発展のため邁進する。

予算決算常任委員会

委員長 佐野 善作

議案第84号、89号補正予算を可決

副委員長 松下 大生

出口憲二郎 橋本 昭

井村 保裕 四宮 祐司

池淵 彰 井内 章介

杉本 勝 近藤 純子

吉見 勝之 佐藤光太郎

廣田 和三 津川 孝善

米崎 賢治 南部 透

○障がい者総合支援費

障がい福祉サービス給付費

5918万円

自立支援医療費

1337万3千円

○公園費

日峯大神子公園（脇谷地区）整備事業

△1555万2千円

○社会教育総務費

市営グラウンド遺跡発掘調査事業（所管替え）

1555万2千円

○防災対策事業費

（南海トラフ地震の）臨時情報に関する防災計画等の検討及び更新業務委託料

747万6千円

◆報告◆

体育館・武道館使用料約101万9千円過大徴収（平成26年6月から）。利

用者に速やかに返還の継続を行なう。還付加算金等を含め、臨時会議で補正予算案を提出する。

○議案第85号

競輪事業特別会計補正予算（第1号）

3億2001万9千円

追加補正（通常開催費他）

追加補正（第2号）

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

524万6千円

追加補正（保険給付費他）

○議案第86号

後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

2741万9千円

追加補正（後期高齢者医療広域連合納付金他）

○議案第87号

国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

524万6千円

追加補正（保険給付費他）

○議案第88号

介護保険特別会計補正予算（第2号）

2億2660万8千円

追加補正（保険給付費他）

○議案第89号

公共下水道事業特別会計

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

追加補正（第2号）

補正予算（第2号）
296万8千円 追加補正（公債費他）

◆所管事項での質問◆

廣田 3000名を無作為に抽出して送付した学校再編のアンケートについて、送付枚数の内訳は。

教育政策課長

小松島小学校区	255人	立江小学校区	155人
南小松島小学校区	714人	櫛淵小学校区	67人
北小松島小学校区	244人	坂野小学校区	172人
千代小学校区	352人	和田島小学校区	359人
児安小学校区	244人	新開小学校区	248人
芝田小学校区	190人		

以上、合計3000人である。

〈一般会計補正予算〉

歳入歳出補正予算事項別明細書

歳入			歳出			(単位：千円)		
款	補正額	計	款	補正額	計	款	補正額	計
11 地方交付金	167		1 議会費	857		11 地方交付金		
15 国庫支出金	△770,861		2 総務費	3,925		15 国庫支出金		
16 県支出金	26,416		3 民生費	247,549		16 県支出金		
20 繰越金	331,292		4 衛生費	32		20 繰越金		
21 諸収入	11,591		6 農林水産業費	△827,251		21 諸収入		
22 市債	165,900		7 商工費	2,437		22 市債		
			8 土木費	△20,930				
			9 消防費	△176				
			10 教育費	5,379				
			12 公債費	147,683				
			13 諸支出金	205,000				
歳入合計	△235,495	16,893,433	歳出合計	△235,495	16,893,433			



質問者名	件名	
井内 章介	部落差別の解消について	P6
	学期制の見直しについて	P7
	高齢者対策について	P7
津川 孝善	ごみ処理施設について	
	移住定住事業について	P7
	消防の救助訓練について	
	学校教育・施設の今後について	P6
佐野 善作	小学校再編について	P8
池淵 彰	競輪場開催業務等包括委託及び施設建設整備について	P8
	小学校再編について	
	強い農業づくり交付金事業、強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業について	
南部 透	河川決壊の危険性について	P9
	就職氷河期世代の対策について	
	学校再編計画について	P9
橋本 昭	小松島市人口ビジョンについて	
	小松島市公共施設等総合管理計画について	P10
	学校再編と学童保育との連携について	
	小学校再編計画について	
近藤 純子	婦人科検診、風疹抗体検査の充実について	P10
	河川の安全性について	P10
	高速道路(高速交通ネットワーク)を活かしたまちづくりについて	P11
井村 保裕	小学校再編について	P11
	学童保育について	P11
	防災・減災対策について	P11
	安心・安全のまちづくりについて	
四宮 祐司	小松島農業振興地域整備計画について	P12
	災害対策について	P12
	教職員の働き方改革について	P13
	赤ちゃん先生について	
吉見 勝之	自衛隊前道路の拡張について	P12
	市総合防災訓練について	
	快適な避難所について	P12
	庁舎の機能について	
	浸水解消の進捗状況について	P12

部落差別解消のため
差別をなくす条例制定を

令和の会 井内 章介 議員

答 先進自治体の条例について
調査・研究を行う



学校再編は、全庁あげて
市民に対応すべきでは

至誠コマツシマ 津川 孝善 議員

答 教育委員会と十分協議し、
必要に応じて判断していきたい



井内 部落差別解消法が施行されて3年が経過しようとしているが、未だ差別がなくならない。差別をなくするための取り組みは。

人権推進課長 小松島市人権教育・啓発に関する基本計画に基づき部落差別を正しく理解するための人権教育・啓発活動の充実に努めている。



人権問題講演会

井内 本市でも結婚・就職などをめぐる差別意識は潜在的に根強いものがある。市独自で差別をなくす条例を検討すべきでは。
人権推進課長 全国的に条例制定に向けた取り組みが少しずつ進んでいるが、先進自治体の条例に

ついて調査・研究を行う。
井内 事前登録型本人通知制度の認識及び登録の状況は。

戸籍住民課長 この制度は、戸籍や住民票の写し等の不正請求の抑止や不正取得による人権侵害を防止するために有効な制度であると認識している。11月末で6名の登録。

学期制を見直す考え

井内 本市では現在2学期制を導入しているが、全国・県内の学期制の状況は。

学校課長 平成30年度の公立小中学校教育課程の状況調査では全国・県内共に3学期制が約8割、2学期制が2割である。

井内 現状は3学期制が断然多い。3学期制で育った親世代には2学期制は馴染まないし違和感がある。小学校再編と併せ見直す考えは。

教育長 2学期制における学校生活のリズムが児

童・生徒・教職員・保護者に定着しており、現時点での見直しは考えていない。

高齢者の移動手段としてデマンドバスの導入

井内 高齢者ドライバーによる交通事故が多発しており、免許証に年齢制限を設ける等、免許証の返納を含め制度の更なる見直しが必要と考えるが。

市民生活課長 免許証の自主返納は全国的に増加しており、国において安全運転サポート車に限って交付する限定免許の導入及び免許制度のあり方検討が進められている。

井内 少子高齢化の急速な進行に伴い高齢者等の移動手段としてデマンドバスの導入を図っては。

市長 市民の移動手段の観点から重要であり、今後、市民を取り巻く交通環境や社会情勢を見据えて行く中で課題として認識している。

津川 小学校再編に係る住民説明会に参加したが、『これは教育委員会だけで回るものではない』という印象だった。住民からは、災害時の対策を始め、通学路、防犯、財政的な観点など様々な質問が出るなか、専門外の質問も多く教育委員会だけでは説明に苦慮していた感否めない。今後、市長部局も対応すること

を強く勧めるがどうか。
教育長 小学校再編に関する説明会なので、まずは教育委員会で対応していきたい。

津川 市民がぶつけてくれている質問・疑問に対し説明責任を果たせておらず、現段階では市民に冷たい対応だと感じる。まずは教育委員会です。

言うが「まずは」の対応は教育委員会は十分にしてきた。当初案では成案を3月に示すという段階にきており、「まずは」の「次は」どうされるか

予定か。
市長 学校再編はまちづくりの視点からおこなう必要がある。教育委員会と十分協議し、必要に応じて判断していきたい。



学校再編説明会(新開小)

学校施設修繕の優先順位は

津川 保護者からは引き続き学校施設の修繕要望は多い。今後、どの方面に重点を置いた修繕を見据えているか。

教育政策課長 特に安全面で緊急性の高いものを判断し、優先順位をつけて計画的に改善していく。

移住定住事業の取り組みについて

津川 重要事業のひとつとして抽出し、私ども議会でも『事業を現状のまま維持するべき』としている。ただし、自分の町を知ることや郷土愛を育むこと、また地域外から来た方を受け入れる体制など、それらをひくく

めたまちづくり、これは行政任せにせず市民一人ひとりが将来の小松島市を考え行動するべきだ。だからこそ、行政としては地域が能動的に動けるお手伝いとなる施策や事業を推進すべきだと思いが、考えをお聞きしたい。

総務部長 行政だけではなく地域住民の方々に現状を十分認識していただき、地域全体で取り組みを推進していくことが重要で効果的だと考える。市民参画・協働のまちづくりのもと施策の推進に繋げてまいりたい。

小学校再編計画の目的は

新風はなみずき 佐野 善作 議員

答
児童数の減少と校舎の耐用年数迫る



佐野 再編の目的は、**教育政策課長** 将来的に多くの学校で一学級当たり

の児童数が10名程度になる見込みである。令和9年度から令和13年度まで5年間に建築後60年を迎える学校が6校あり、耐用年数が迫っている。また、子どもたちが新しい時代を生き抜く力を培う教育が行えるようにするためである。

佐野 実施計画案では、小中一貫教育にはなっていないのでは。
教育政策課長 市の北部と南部に1中学校2小学校での小中連携が可能になる。学校数が減ること

で、これまで以上の学校の連携が可能となる。
佐野 なぜ海から離れた標高の高い地域に統合校の建設用地を計画しなかったのか。
教育政策課長 一階をほぼ使わないような構造にする等の手法により津波を回避することができる。

佐野 小学校は地域の中で、廃校になれば若者の居住が減り、地区の人口が減る。地域コミュニティにとっても小学校は必要不可欠である。市全体のまちづくりをどう考えるのか。
まちづくり推進課長 生活サービスと居住機能を

誘導する区域や施設を設定するに当たり教育施設の位置付けは重要と認識している。その他、医療・子育て・文化・商業施設などの立地も勘案し、コンパクトシティ形成に向けた取り組みを進める。

佐野 小規模校、大規模校のメリット・デメリットは。
教育政策課長 小規模校のメリットは、きめ細やかな指導ができ、個別の活動機会を確保しやすい。児童相互の人間関係が深まりやすい。デメリットは、集団生活や多様な学習活動に制約が生じやすいなど、学習形態

が深まりやすい。デメリットは、集団生活や多様な学習活動に制約が生じやすいなど、学習形態

競輪開催業務等包括委託及び施設整備業務に関するプロポーザル方式が、なじまないのでは

みらいの会 池淵 彰 議員

答
選定委員会委員長は施設整備業務に関し、この方式は困難ではないかと総括をされた



池淵 競輪開催業務等包括委託及び施設整備業務に関するプロポーザル方式が、本件になじまない方式であったと改めて立証する質問をする。まずは、これまでの経緯は。
競輪局長 施設を早急に整備するため、競輪開催業務と施設整備業務を一括委託し、プロポーザル方式により、7月に第1回目の公募を行ったが、参加表明者がなく中止。再度、10月に第2回目の公募を行い、1社から応募があったものの、選定には至らなかった。

池淵 1社が要件を満たしていたとの答弁だが、私は、満たしていないと判断する。契約は、包括委託と施設整備の2つ。建設工事に関し、全く工事実績がないところと契約できるのか。
産業建設部長 募集要領上の有資格者であった。施設整備は、受託事業者の責務による業務だと認識しており、契約種別は業務委託と考える。

池淵 立候補者となった会社は、経営審査状況資料を見るに建築工事一式、工事実績ゼロ、技術監督者ゼロ。これで仕事ができるのか。25億円を建築実績ゼロのところ

に注する可能性があつた。その事実をどう捉えるのか。
産業建設部長 既に、事業者選定会議における所定の審査と評価の結果、受託候補者として選定するに至らなかったという事実がある。この場で答弁できる立場にない。

池淵 答える立場にある。「小松島市プロポーザル方式実施要項」に基づき、質問している。建築工事ゼロのところ

に注する可能性があつた事実を認めることになるのではないか。ここを明確にするのが、次の対策の重要なポイント。参加資格を認めたことは、今

や指導体制が取り入れにくい人間関係や相互の評価等が固定化しやすい。大規模校のメリットは、学級同士が切磋琢磨する環境を作ることや多様な意見に触れさせることができ、新たな人間関係を構築する力を身につけさせることができる。デメ

リットは、学校行事等において一人一人の活躍する場や機会が少なくなる。同学年の結びつきが中心になり、異学年交流の機会が設定しにくくなるなど。**佐野** 小学生の時代は小規模で学校と家庭、地域が密着した中で連携して

育てるのがよいと思うが。**教育長** 学校規模に関わらず学校と家庭、地域が連携し、教育することは大変重要である。今回の再編計画でもそのことを目指していく。

回のプロポーザル方式募集要領には適合しないことは明らかだ。**副市長** 議員の指摘のとおり、包括委託と施設整備の2契約だが、どちらも業務委託。コンサルタント会社の調査結果に基づき、今回の手法で提案した。

池淵 そもそも、この方式自体がなじまない。従来のとおり、エントリー時には専門的企業体が構成されているべき。**副市長** 包括委託については全国実績がある。しかし、施設整備に関して、この方式を継続しても、選定に至るのは困難では

小学校再編計画の前提が覆った場合の見直しは

至誠コマツシマ 南部 透 議員

答 計画内容が大きく変更の場合、協議を行う



南部 「2クラス維持」ができない理由として「徒歩で通えるために」「スクールバス確保が難しい」と話された。まずはスクールバス支援として、子どもの歩く分速60mとし30分以上のご家庭を支援すると、実際に

歩いてみると、子どもはこの基準では歩けない。基準の見直しは。**教育政策課長** 準備委員会で検討していく。**南部** 「バスの確保」について、バス会社に問うと条件があれば確保はできると回答。「徒歩通学」

について、通学支援方法の検討で徒歩通学はできる。通学支援に関する事を、細かく検証出来ない。計画の前提が覆った場合、見直しは。**教育政策課長** 大きな内容の変更の場合、教育委員会でも協議を行う。

南部 計画上、本事業予算87億円。3分の1交付金が入ってきて約60億円は市が用意しなければならぬ。現在170億円の起債残高(借金)、12億円の基金残高(貯金)。これからも日峯大

町では大雨時に「漏水」という現象が起こる、土手の強化を。②高速道路の高架下を活用した避難場所を。そのためには津波避難計画の中に地域名称の記載が必要。江田町中田町は記載なし。また県議会でも江田町、中田町周辺の避難場所の検討がはじまった。そして12月市議会の補正で津波避難計画の見直しが予算計上されている。この度の見直しで名称は入るのか。**危機管理課長** 記載地域以外においても、一定条件を定めた中、該当する地域の避難場所の検討も行う。



神子広域公園整備など事業が続く。事業を執行する余裕があるのか。**総務部長** 現段階では不透明。成案への進捗状況を踏まえ、他の事業の進捗状況も含め、財政運営上の見極めが必要。

危機管理課長 破堤氾濫地点として本市では左岸8地点、右岸21地点で設定されている。**南部** 決壊に備えて対策は。

危機管理課長 紙版の洪水土砂災害ハザードマップを更新し12月中に配布。**南部** 現在、小松島市ではソフト面を進めている。これからはハード面での2点対策を。①江田

小学校削減の背景に「公共施設等 総合管理計画」があるのでは

日本共産党 橋本 昭 議員

答

学習環境整備・教育理念追求
のために再編計画を策定



橋本 「小松島市公共施設等総合管理計画」策定の背景と目的について説明を。

橋本 自民党の安倍政権は、2014年度から地方自治体に対して、施設の統廃合、縮小による集約化を迫る「公共施設等総合管理計画」の策定を要請してきている。

総務課長 全国的に公共施設等の老朽化が大きな課題となる中、地方公共団体においては厳しい財政状況が続くこと、また今後、人口減少等により公共施設等の利用需要等が変化していくことが予想されることから、これらを踏まえて公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減、平準化するとともに公共施設等の最適な配置を実現する必要があるた

め、国から策定を要請されたもの。
政府の狙いは、地方財源に対する国からの支出を削減する新たな方策として、この「公共施設等総合管理計画」が打ち出された。

小松島市の数値目標は今後40年間で公共施設等延床面積の20%の削減を目標にしている。施設分類別延床面積の

割合で、一番多いのは学校教育系施設の33・2%である。

公共施設の延床面積の総量は、18万5758・98㎡である。この中から20%削減面積というのは3万7151・796㎡である。

すでに廃校になってい立江中学校・坂野中学校と、削減計画の7つの小学校の延床面積を合計すると、その総面積は3万196・43㎡になる。そうすると、40年かけて延床面積を削減するという目標を、学校削減によりわずか10年で80%超を達成する。これは、あ

婦人科検診、風疹抗体検査の 積極的な取り組みを

新風はなみずき 近藤 純子 議員

答

がん検診無料クーポン券利用
期間を延長し、無料風疹抗体検査未受診者に通知をする



近藤 最新の調査では、1年間で県内の女性で乳がんと診断された罹患数は682人であり、40代で増加している。子宮頸がんの罹患数は206人で20代から増加傾向にある。早期発見が何よりも重要である。国の支援事業を利用し、乳がんは40歳、子宮頸がんは20歳になった翌年に検診無料クーポン券が送付されたが、一人でも多く受診してもらいたいため、利用期間を長くできないか。

保健センター所長 令和2年度から有効期間を1月から2月まで一ヶ月間延長し発送時期も6月と早める。

近藤 風疹は都心部を中心に流行している。脳炎等合併症を防ぎ、妊娠した女性の赤ちゃんを守る

ことが重要。集団接種をしていない40歳から57歳の男性に無料で多く受けてもらうため、未受診者の方へ再度連絡は。

保健センター所長 未受診者に受診の通知等、周知していく。

河川の安全対策は

近藤 近年、台風等の豪雨による河川堤防の決壊

が甚大な被害を及ぼし、本市でも影響への懸念がある。河川の安全対策の整備状況について現状は。

産業建設部副部長 治水の安全確保と災害軽減事業が実施されている。流域の特性によつて改修工事を継続的に行う。

近藤 勝浦川の堤防未整備区間（田浦町西原）の整備の見通しは。

産業建設部副部長 残る区間約38mの早期整備に向け、鋭意取り組む。

近藤 以前堤防の下から用水を引き込んでいた北原地区は安全か。

産業建設部副部長 河川及び河川管理施設の機能維持保全が図られている。

まりにもひど過ぎないか。



総務部長 学校施設に関しては、総合管理計画の策定以前より、人口の減少、少子・高齢化を含む社会情勢や需要の変化を踏まえ、よりよい学習環境の整備や教育理念の追求のために学校再編計画の策定に取り組んできた。

橋本 来るべき総選挙で、野党共闘が勝利すると「公共施設等総合管理計画」の廃止または見直しが出るかもしれない。そのときにはどうするか。
総務部長 仮定での質問であるので、答弁は差し控える。

活力あふれるインターチェンジを活かした高速道路へ
近藤 高速道路は緊急時に命を守り渋滞の解消や地域の活性化が期待できるが、本市を通過するのみと懸念もする。9月には立江榑地区に地域活性化インターチェンジの連結が許可され、市街地

の玄関口である「小松島IC」と市南部の産業振興の拠点となる「立江・榑IC」が整備される。今後、魅力あるまちづくりに活かし、地域振興施設が開通前に利用できるか。

産業建設部副部長 市内を周遊する人や物の流れを促進し、高速道路の効果を市内全域に享受できる施策の展開を考える。小松島ICは命の道・人々が集い楽しむ交流の道・地域経済を活性化する活力の道として極めて重要。立江・榑ICの整備促進による先行共有が図られるよう努めたい。

台風19号の被害があった 大手海岸の復旧は

新風はなみずき **井村 保裕 議員**

答
今後、事業主体である県が
養浜を実施していく



井村 市の取り組みとして、災害対策は万全か。

井村 10月の台風19号の高波被害で、和田島町の大手海岸が大きな被害を受けた。県と共に早急に取り組むべきではないか。

井村 津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

井村 津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

井村 津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

井村 津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

市からの取り組みとして、災害対策は万全か。

10月の台風19号の高波被害で、和田島町の大手海岸が大きな被害を受けた。県と共に早急に取り組むべきではないか。

津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

津波避難施設は、定期的整備していくべきではないか。

本市の農業振興への取り組みは

公明党 四宮 祐司 議員

答 農地の利活用、担い手育成等を図り、産地競争力の強化に取り組む



四宮 本市独自の助成制

度の創設なども検討し、市の活性化のためには農林水産業が生産だけでなく、それを原材料とした加工食品の製造販売や、観光農園のような地域資源を生かしたサービスなどの6次産業化を推し進める必要がある。今後の本市の農業、漁業など産業振興につなげていくための気運づくりは、市の大きな役割と考える。市長の考えは。

四宮 農地の有効活用を念頭に

に、早期に意欲ある担い手の育成を深く図るとともに、次世代を担う農業者と連携し、産地競争力の強化に向けた取り組みを推進していく。

小中学校の体育館にガスヒートポンプ(GHP)を設置しては

四宮 地震などの災害時には電柱の倒壊、電線の断線などにより停電が発生する恐れがあるが、GHPは停電の影響を受けないとして、全国の自治体でも避難所となる体育館などに設置が進んでいる。市の考えは。

危機管理課長

今年度から徳島県でも学校体育館の設置に最適な空調方式を検討しており、電源設備についても、LPガス発電システムの採用も含め検証を進めている。その調査結果も含め、本市でも施設管理者等と情報共有し、GHPについても安全面、コスト面、利便性等について研究していく。



小松島航空基地前道路の拡張は

みらいの会 吉見 勝之 議員

答 徳島県と協議を進め事業化のめどを探る



吉見

自衛隊前交差点は大型自動車の出入りがしにくい形だ。抜本的な改良のため、交差点付近の建物を含む用地確保が可能の場合、改良工事は。

都市整備課長

地元より改良の要望も多い。道路部分の跡地確保について、所有者の徳島県と協議を進めるとともに、各関係機関との協議や財政面の負担軽減を図りつつ、事業化のめどを探る。

に無風、無音の空調システムがある。設置しては。



国分体育館の輻射式冷暖房装置(黒い壁面部分)

体育館に無風の輻射式冷暖房装置を

吉見

11月に参加した都市問題会議の会場、鹿児島県霧島市の国分体育館

都市整備課長

国分体育館は輻射式冷暖房装置を採用。風に影響される球技スポーツ等も快適に利用出来る。徳島県で検証

が開始されており、施設管理者と情報共有を図り研究する。

金磯、和田島、日の出地区の浸水対策は

吉見 金磯地区の進捗状況は。

まちづくり推進課長

10年に一度程度発生する時間降雨量に耐える金磯南ポンプ場を設置した。平成26年度に下水道認可区域11・5ヘクタールにおける環境整備計画だ。延長3600mの内390mが完成。今後は、金磯病院周辺の排水路を先行的に整備する。

クイズ

JR南小松島駅～阿波赤石駅間にはかつて駅が存在しました。大正5年に旅客駅として設置されたのち、海水浴シーズンなどの臨時駅を経て昭和37年に廃止された、この『駅名』を何というでしょう。



- ①金磯駅
- ②海岸駅
- ③横須ノ浜駅

応募方法

はがきに答え・住所・氏名・年齢を記入。

正解者の中から、抽選で5名様に図書カード1000円分プレゼント!
〔当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。〕

あて先

〒773-8501 小松島市横須町1番1号 小松島市議会事務局
(締切日 令和2年2月29日消印有効)

前号(122号)クイズの答え

問題

シラス(ちりめんじゃこ)は主に何の稚魚でしょうか?

答え ③カタクチイワシ



前回もたくさんのご応募、ありがとうございました。

議会の映像配信について



パソコン以外の多くの端末(スマートフォン・タブレット)で、市議会本議会や委員会の録画配信が見られるようになりました。ホームページやQRコードからぜひご視聴ください。現在、今年度分から改良配信しております。



消防出初式

1月5日、消防出初式で高所放水車と消防ヘリを逆光撮影。消防団員は市民の安心安全のために日夜軒昂で頑張っています。

教職員の働き方改革について

四宮 教職員の負担軽減に向けた取り組みは。

学校課長 令和2年度までに月当たりの時間外勤務を平成29年度比で25%の削減を目指し、令和2年度より夏季、秋季休業

中に学校閉庁日を設定。児童生徒は登校させず部活動は休養日とする。また、部活動指導員を配置し、週当たり2日以上の休養日を設けることや、平日の練習時間を2時間程度にすることなどの方針を徹底する。



部活動風景 (小松島中)

吉見 和田島地区の進捗状況は。

まちづくり推進課長 和田島ポンプ場の地下部分の土木構造物の工事着工にかかる。

吉見 日の出地区の進捗状況は。
まちづくり推進課長 平成26年度に排水系統など

全体計画調査を行い、全体計画を策定。来年度からは、浸水防除の基幹施設となるポンプ場の工事着手の予定。

吉見 平成30年12月、基地周辺対策協議会に工事の説明があった。6年間で約1億4千万円使って進めている。このことを

市は地元住民に周知すると約束したが、まだできていない。

産業建設部副部長 市として確かに承った事案である。幾多の課題が浮上り、報告や連絡不足となった。反省し、しっかりと対応する。

議員の賛否表（令和元年12月定例会議）

議案等	議員名（議席番号順）	委員長報告	南部透	津川孝善	近藤純子	佐藤光太郎	井内章介	橋本昭	松下大生	四宮祐司	米崎賢治	廣田和三	池淵彰	吉見勝之	出口憲一郎	井村保裕	杉本勝	佐野善作	結果	
第84号	令和元年度小松島市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第85号	令和元年度小松島市競輪事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第86号	令和元年度小松島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第87号	令和元年度小松島市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第88号	令和元年度小松島市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第89号	令和元年度小松島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第90号	小松島市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第91号	小松島市長、副市長及び教育長の給与と条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第92号	小松島市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第93号	小松島市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第94号	小松島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第95号	小松島市公共施設における使用料改定に係る関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第96号	小松島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第97号	小松島市少年武道場条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第98号	小松島市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第99号	小松島市競輪事業臨時従事員の給与等に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第100号	小松島市長、副市長及び教育長の給与と条例の一部を改正する条例について	—	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第101号	固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

委員長の報告に対して ○は賛成 ●は反対 ※議長（前川英貴）は、採決に加わりません。
議案100号・第101号は追加議案、委員会付託はしておりません。

補足説明

前号、議会だより122号（11月5日発行号）の4ページ
平成30年度「議会が評価した主な事業」の『日峯大神子広域公園（脇谷地区）整備事業』に計画当初の完成イメージ図を掲載しておりますが、現在も協議中の事業であり、最終の完成図ではありません。



文教厚生常任委員会視察報告

目的

- ① 小学校再編に至った経緯
- ② 再編の進め方について
- ③ 再編後に見えてきた課題
- ④ 跡地利用について
- ⑤ 小中一貫教育について

視察先

広島県呉市・広島県府中市

視察日

令和2年1月15日～16日

参加者

委員長 井村 保裕
副委員長 近藤 純子
委員 池淵 彰、杉本 勝
委員 廣田 和三、橋本 昭
委員 四宮 祐司、井内 章介
委員 津川 孝善、南部 透

委員外参加議員

吉見 勝之、米崎 賢治

視察概要

【呉市】 統合となると、地域の学校がなくなることへの反発はあったが、何度も説明会を開き、しっかりと話し合うことで合意形成をしていくこととなった。校区は通学を1時間以内



とし、公共交通機関を使つての通学には定期券購入の補助をし、それが困難な場合はスクールバス（委託）を利用している。廃校後の跡地は売却を基本とするが、地域振興のために、校庭をグラウンドとして、校舎の一部を集会所として使用しているところもある。

【府中市】

地域の学校がなくなることに対して地元は大反対だった。人口減少したから統合というのではなく、子ども達への最適な教育とは何かという視点で住民と議論し、理解を求めながら統合を行った。文部科学省の指針をもとに小学校は徒歩通学を4km以内とし、徒歩圏外の所はスクールバスを運行（委託）している。対象者が少人数の地域はタクシーでの通学もある。廃校となった校舎は、地域社会が利用でき、公民館として活用されている所が多く、校庭は社会体育のグラウンドとして利用している。



廃校舎を利用した公民館

議会コンサート出演者募集

※過去にご出演いただいたことのある方(グループ)でもご応募いただけます。

このコンサートは「開かれた議会」を目指す取り組みの一環として、より多くの市民の皆さんに市議会の場に気軽にご来場いただくきっかけとなるように開催しております。議会コンサートにご出演だけの方、下記お問合せ先までご連絡をお待ちしております。

▷開催日・・・各定例会議（3月・6月・9月・12月）開催期間内

※昼の休憩時間約30分間を予定

▷場所・・・本会議場フロア（市役所議会棟2階）

お問合せ・お申込み先

議会事務局 ☎32-1359



9月定例会議：ご出演の『小松島コーラスマリン』の皆さん

令和2年3月 定例会議 日程

◎開会時刻 青字 午前10時 赤字 午後1時

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		開会	休会 (議案調査)	質疑 一般質問 (※)	質疑 一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	質疑 一般質問	総務 常任委員会	文教厚生 常任委員会	産業建設 常任委員会	休会 (事務整理)	
15	16	17	18	19	20	21
	予算決算 常任委員会	休会 (事務整理)	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	春分の日	
22	23	24	25	26	27	28
	予算決算 常任委員会	予算決算 常任委員会	休会 (事務整理)	議決・散会		
29	30	31	※3月5日(木) 午後0時20分～50分 ふれあい市議会コンサートを開催予定			

議会を見学しよう

定例会議は、3月、6月、9月、12月に開催します。すべての会議、委員会を傍聴することができます。皆さんの傍聴をお待ちしています。

議会を読もう

議会だより「Seventeen」は、2月、5月、8月、11月の各5日に発行します。ぜひ、皆さんの生活に密接に関わる議会の活動を知る時間にしてください。

議会を動画で見よう

本会議の様様をケーブルテレビでライブ中継をしています。翌日夜、録画再放送も行っています。委員会はインターネットで録画配信をしています。13ページにQRコードがあります。

議会に参加しよう

議会に対して陳情等を提出することができます。陳情とは、特定の事項について議会などに実情を訴え、適切な措置を要望することです。

発行／小松島市議会
議長 前川英貴



東京1964

昭和39年、東京オリンピックの聖火が小松島市赤石町を通過したときの写真です。赤石駅前まで小学校から歩いて見に行きました。

写真で見る市内の
今昔風景

東京2020

4月17日(金)に
オリンピック聖火リレーが小松島市を走ります

小松島市では、国道55号線的那賀川町にある藤岡精肉店前から大林町の江藤病院付近まで約1.6kmの間を聖火ランナーが走ります。
東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しよう。



編集／議会広報特別委員会
委員長 廣田和三

- | | | | | | | | |
|----|-----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 南 | 佐藤 | 近藤 | 井内 | 橋本 | 吉見 | 津川 | 廣田 |
| 透 | 光太郎 | 純子 | 章介 | 昭 | 勝之 | 孝善 | 和三 |

広報委員

若者に人気の樺坂46が歌うヒット曲に「サイレントマジョリティー」がある。物言わぬ大多数の人々を指しており、声なき声は、時に誰の耳にも届かない。若者よ声を出せ、声を挙げよと歌詞は続く。

私は、サイレントマジョリティーでいいのか？と聞かされた。議会を知り、参加しよう。そして、この議会だよりが、声を挙げてもらえる「きっかけ」の一つとなれば幸いです。

(吉見勝之)

編集後記